



2021 年度 環境経営レポート

(対象期間 2021 年6月1日～ 2022 年5月31日)



©環境省
エコアクション21
認証番号 0010998

作成日： 2022年6月21日
更新日： 2022年7月8日

目 次

| 項 目 | ページ |
|---------------------------------------|-----|
| ◇環境経営方針◇ | 3 |
| ◇組織の概要◇ | 4 |
| ◇認証・登録の対象組織・活動◇ | 4 |
| ◇環境経営組織図及び役割・責任・権限表◇ | 5 |
| ◇主な環境負荷の実績◇ | 6 |
| ◇環境経営目標及びその実績◇ | 6 |
| ◇環境経営計画の取組結果とその評価◇ | 7-9 |
| ◇環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無◇ | 10 |
| ◇緊急事態対応訓練◇ | 10 |
| ◇代表者による全体の評価と見直し・指示◇ | 11 |
| ◇会社周辺の清掃活動◇ | 11 |



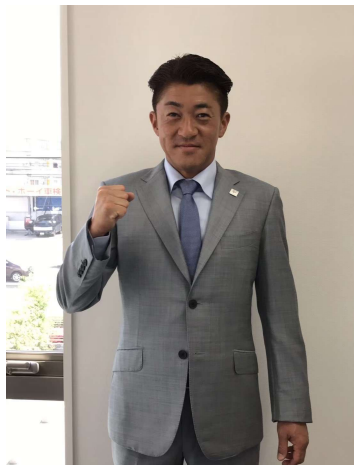
◇環境経営方針◇

<環境経営理念>

近年、地球の温暖やボーダーレスの大気汚染等の問題が顕著になっており、美しい地球と安全で住みやすい地域環境を次世代に残すため、本業である電気設備工事業の設計・施工を通じて、二酸化炭素と廃棄物排出量の削減及び資源の有効活用に全社員・協力業者一丸となり、積極的に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 事業所及び建設現場における電力と化石燃料の使用量を削減し、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事業所及び建設現場において、一般及び産業廃棄物の排出を抑制すると共に分別と再生利用を推進します。
4. 事業所及び建設現場における水使用量を削減します。
5. 事務用品のグリーン購入と資材・原材料のグリーン調達に努めます。
6. 電気設備工事業の設計、施工にあたり省エネ照明器具をはじめとする省エネ機器の使用を提案し、事業活動に伴う環境改善に努めます。
7. 地域での環境保全活動に積極的に参加します。
8. 環境に配慮した施工方法の提案・ECO商品の資材の使用に努めます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

制定日：2015年7月10日

改定日：2019年3月20日

代表取締役社長

楠本剛志

◇組織の概要◇

- (1) 名称及び代表者名
 LiVエンジニアリング株式会社
 代表取締役社長 橋本 剛志
- (2) 所在地
 事業所 〒664-0022 兵庫県伊丹市中野東3丁目130番
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 工事統括部長 山本 拓一 TEL:072-785-9114
 担当者 総務事業部 小野 真史・森 幹子 TEL:072-785-9114
- (4) 事業内容
 電気設備工事、電気通信工事、空調設備工事、電信電話架設工事、
 防災・防犯設備工事、管工事の設計及び施工
- (5) 事業の規模
- | | | |
|-------|----------------|--------------------|
| 売上高 | 736 | 百万円 |
| | 本社・事務所 | |
| 従業員 | 名 | 19名 |
| 延べ床面積 | m ² | 231 m ² |
- (6) 事業年度 6月1日～5月31日

◇認証・登録の対象組織・活動◇

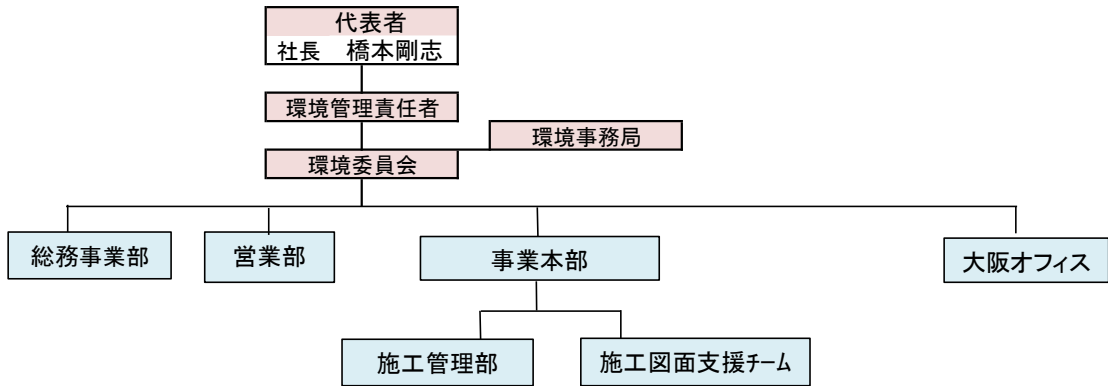
- 登録組織名: LiVエンジニアリング株式会社
 対象事業所: 事業所
- 対象外: 大阪オフィス
 活動: 電気設備工事、電気通信工事、空調設備工事、電信電話架設工事、
 防災・防犯設備工事、管工事の設計及び施工



<AED設置による安心安全な街作り>

◇環境経営組織図及び役割・責任・権限表◇

更新日： 2022年3月10日



| | 役割・責任・権限 |
|---------|--|
| 代表者(社長) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認 |
| 環境事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) |
| 環境委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価 |
| 部門長 | <ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

◇主な環境負荷の実績◇



| 項目 | 単位 | 2019年 | 2020年 | 2021年 |
|-----------|--------------------|--------|--------|--------|
| 二酸化炭素総排出量 | kg-CO ₂ | 21,211 | 23,443 | 22,940 |
| 廃棄物排出量 | | | | |
| 一般廃棄物排出量 | KG | 381 | 492 | 364 |
| 産業廃棄物排出量 | KG | 3,530 | 0 | 3,380 |
| 総排水量 | m ³ | 60 | 75 | 75 |

※二酸化炭素排出係数 0.311 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

◇環境経営目標及びその実績◇

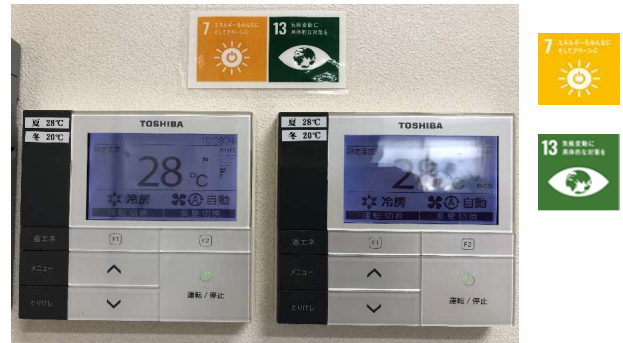
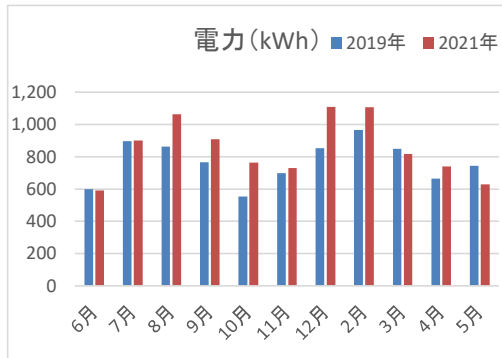
| 項目 | 年度 | 基準値 (基準年) | 2021年 | | 評価 | 2022年 | 2023年 |
|---------------------|--------------------------|---------------|---------------|---------------|----|---------------|---------------|
| | | | (目標) | (実績) | | (目標) | (目標) |
| 電力による二酸化炭素削減 | kg-CO ₂ | 3,195 | 3,163 | 3,331 | × | 3,131 | 3,099 |
| | 基準年度比 | 2019年 | 99% | 104% | | 98% | 97% |
| 自動車燃料による二酸化炭素削減 | kg-CO ₂ | 11,523 | 11,408 | 19,609 | × | 11,293 | 11,178 |
| | 基準年度比 | 2019年 | 99% | 170% | | 98% | 97% |
| 上記二酸化炭素排出量合計 | kg-CO₂ | 14,718 | 14,571 | 22,940 | | 14,424 | 14,277 |
| 一般廃棄物の削減 | kg | 315 | 312 | 364 | × | 309 | 306 |
| | 基準年度比 | 2019年 | 99% | 115% | | 98% | 97% |
| 産業廃棄物の削減 | kg | 2,110 | 2,089 | 3,380 | × | 2,068 | 2,047 |
| | 基準年度比 | 2019年 | 99% | 160% | | 98% | 97% |
| 建設副産物の再資源化率の向上 | % | 10% | 38% | 56% | ○ | 40% | 42% |
| 水道水の削減 | m ³ | 75 | 74 | 71 | ○ | 74 | 73 |
| | 基準年度比 | 2019年 | 99% | 95% | | 98% | 97% |
| 環境に配慮した設計・施工の提案 | | 行動目標(次項による) | | | | | |

◇環境経営計画の取組結果とその評価◇

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

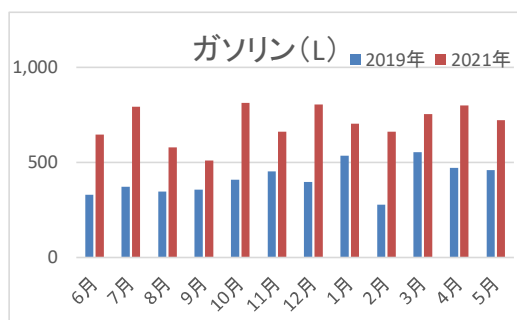
| 電力による二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組内容 |
|--|------|---|
| 数値目標 | × | コロナ対策のために空気洗浄機の使用、換気による冷暖房の電力使用量が増え、目標達成はできなかったが、社員全員が節電意識を持って取り組んでいた。(休憩時には消灯、離席時にはPCをスリープする等)また、SDGsを取り入れ、各所にロゴマークを貼り、より節電を意識づけるようにしているので、今後徹底していきたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃) 不要照明の消灯 ノー残業デーの実施 共有できる仕事はなるべく個人に任せず、社員同士協力し残業を減らし、事務所の利用時間を削減する。 | | |



< 設定温度 表示 >

| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 合計 |
|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-----|--------|
| 2019年 | 598 | 897 | 863 | 767 | 554 | 698 | 853 | 1,109 | 967 | 849 | 664 | 745 | 9,564 |
| 2021年 | 591 | 901 | 1,063 | 908 | 763 | 730 | 1,109 | 1,351 | 1,107 | 818 | 740 | 630 | 10,711 |

| 自動車燃料による二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組内容 |
|---|------|---|
| 数値目標 | × | 前年同様コロナ禍により車移動が多く、遠方の現場も多かったため、ガソリン使用量が増えた。適宜、車のメンテナンスをしてガソリン節約に繋げたり、遠方移動時にはあらかじめ最短ルートを検索し、走行距離を抑えて二酸化炭素の排出量の削減に努める。また、本社は電気自動車を使用しており、ガソリン使用料削減に貢献できた。引き続きエコドライブを徹底していきたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップ エコドライブ徹底する 近距離の用務には社用車を使用せずに自転車を利用し、エコを心掛ける。 | | |



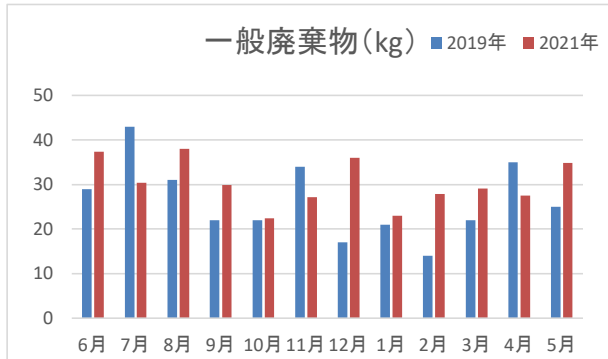
< 電気自動車 >

| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 合計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 2019年 | 330 | 373 | 348 | 357 | 410 | 454 | 397 | 536 | 277 | 554 | 471 | 460 | 4,967 |
| 2021年 | 646 | 793 | 579 | 511 | 814 | 661 | 806 | 704 | 662 | 754 | 800 | 722 | 8,452 |

軽油使用量

| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 合計 |
|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|
| 2019年 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2021年 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

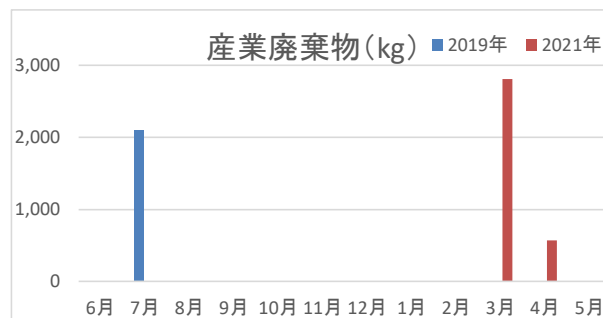
| 一般廃棄物の削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組内容 |
|---------------------------|------|--|
| 数値目標 | × | コロナ感染症予防の手洗い施行、オフィス内各所の消毒を継続して徹底したことにより、ペーパータオル使用量が多かった。 書類をデータ化するため、その過程で処分する紙類が増加してしまった。 印刷物を減らす・裏紙を使用する等の工夫をしたが、目標達成には至らなかった。 |
| ・データ中の必要な部分を確認した後に印刷をする。 | | |
| ・裏紙を使用する。 | | |
| ・過去ファイリング書類のデータ化とファイル再使用。 | | |



<ペットボトルのキャップを、ゴミとして焼却処分するのではなくリサイクルすることで、焼却処分に伴うCO2の発生を抑制>

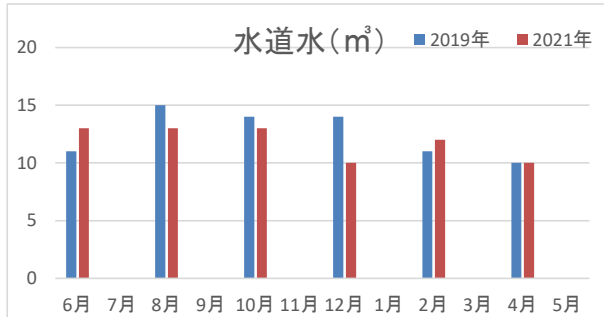
| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 合計 |
|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|-----|
| 2019年 | 29 | 43 | 31 | 22 | 22 | 34 | 17 | 21 | 14 | 22 | 35 | 25 | 315 |
| 2021年 | 37 | 30 | 38 | 30 | 22 | 27 | 36 | 23 | 28 | 29 | 28 | 35 | 364 |

| 産業廃棄物の削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組内容 |
|---------------------------|------|--|
| 数値目標 | × | 今期は下半期後半に立て続けに入札案件が落札され、目標達成に至らなかった。できるだけ無駄な廃棄物が発生しないよう担当者に促す等、今後に向けて達成できるよう全社で対応していきたい。 |
| ・分別の徹底 | | |
| ・リサイクル可能な物は、廃棄せずにリサイクルする。 | | |



| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 合計 |
|-------|----|-------|----|----|-----|-----|-----|----|----|-------|-----|----|-------|
| 2019年 | 0 | 2,110 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,110 |
| 2021年 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,810 | 570 | 0 | 3,380 |

| 水道水の削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組内容 |
|-----------------|------|---|
| 数値目標 | ○ | 節水のステッカーを貼る等、視界に入ること意識改善に繋がった。コロナ禍により頻繁な手洗い等で節水が難しい面もあると思うが、その中でも、手洗い時は止水、うがいはコップを使用する等、また洗い物は時間短縮に努め、日々の積み重ねで来期は更なる削減を目指す。 |
| ・トイレに擬音装置取り付け | | |
| ・洗濯機利用時の適用水量の徹底 | | |
| ・節水の徹底 | | |



| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 合計 |
|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|
| 2019年 | 11 | 0 | 15 | 0 | 14 | 0 | 14 | 0 | 11 | 0 | 10 | 0 | 75 |
| 2021年 | 13 | 0 | 13 | 0 | 13 | 0 | 10 | 0 | 12 | 0 | 10 | 0 | 71 |



| 環境に配慮した設計・施工の提案 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組内容 |
|-----------------------------------|------|-------------------------|
| 数値目標 | ○ | 元請工事はあったが、提案できる案件がなかった。 |
| ・元請工事にLED化など省エネ機器の使用を、見積提出時に提案する。 | | |
| ・元請になれる工事を受注するために、積極的に入札をする。 | | |
| 確認する | | |

◇環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟の有無◇

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

2022年6月27日

| 適用される法規制 | 適用される事項(施設・物質・事業活動等) |
|------------|--|
| 廃棄物処理法 | 収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス、廃油、廃水銀ランプ等) |
| 建設リサイクル法 | 解体工事、建設副産物 |
| 騒音規制法 | 空気圧縮機、送風機 |
| 振動規制法 | 空気圧縮機 |
| 水質汚濁法 | 油類・有害物質の保管 |
| 下水道法 | 除害施設 |
| 自動車NOx・PM法 | 対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用 |
| 消防法(危険物) | 危険物の保管 |
| フロン排出抑制法 | 業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫 |
| グリーン調達基準 | 自治体、元請のグリーン調達基準 |

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

◇緊急事態対応訓練◇

| | |
|--|---|
| 緊急事態の想定： 地震及び火災の発生 | |
| ■実施日： 2021年9月22日 ■参加者： 山本・岡田・横山・小野(真)・森・福原 | ■実施場所： 事業所 ■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練 手順書変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし |
| ■評価： 消火器の取り扱い方と避難経路を確認できた。 持ち出しの貴重品の確認、持ち出し担当を再確認できた。 地震時に身を守る方法について話し合った。 | |
| ■実施状況の様子 | |
|  | |
| 緊急事態の想定： 地震・火災の発生 | |
| ■実施日： 2021年10月15日 ■参加者： 橋本・山本・中本・井上・横山・小野(真)・森・福原 | ■実施場所： 事業所 会議室 ■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練 手順書変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし |
| ■評価： 事前に避難経路を共有していたため、スムーズに避難できた。 | |
| ■実施状況の様子 | |
|  | |

◇代表者による全体の評価と見直し・指示◇

2022年7月8日

エコアクション21に取り組んでいる事により今年度も意識的に電気自動車等を活用する等、削減を常に心掛ける事が出来た。実際に自動車燃料消費量削減等、結果は出ているが、一方で受注量増による諸雑業務の増加により、電力に関しては目標を下回った。しかし売上増も事実であるため全体の環境活動目標に対しての取組成果については部分的には反映されたと判断できる。ただ、遠方現場に加え、コロナ禍による密を避ける為等、月1度開催していたエコアクション21明示報告会に関しても実施できない月もあり、次年度は再度環境活動に対して社員に教育する時間を作るように指示する。また、コロナ禍以前に設定した基準年数値の厳しさも痛感している。来期に向けてエコアクションを念頭に置くことは大前提で、その上で無理・無駄のない社員が過負担にならない様な基準年数値の再構築も必須だと考えている。

| | | |
|-----------|--|-------------------------------|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 実施体制 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |

◇会社周辺の清掃活動◇

月に1回会社周辺の清掃活動を実施しています。各自ゴミ袋と火ばさみを持ち、ゴミを集めています。さらに今後も地域社会に貢献できるように実施していくつもりです。

